

リフレッシュ休暇で柔軟な休暇取得が可能

取組の  
ポイント

- 柔軟に休暇を取得できるため、趣味の充実や資格のための勉強に時間を割くことができ、若手職員の満足度の向上につながっている
- 休暇予定の見える化により休暇取得を推進



## 取組の目的・概要

- 平成2年の施設開設当初は、「夏期休暇」という形で、原則として連続した5日間の休暇を取得する制度であったが、柔軟に休暇を取得できるように年間を通じて取得できるようにし、取得単位も1日単位とした。これにより、休暇の名称も「リフレッシュ休暇」とした。
- リフレッシュ休暇は、年間5日付与される特別休暇で、初年度の休暇付与日数は、採用月によって、4月・5月だと3日、6月・7月だと2日、8月・9月だと1日が付与される。
- リフレッシュ休暇の他、療養休暇や育児・介護休業、子の看護休暇等の特別休暇があり、これらについても、取得率向上の改善を行っている。
- 職員の休暇予定が見える化され、休暇が少ない職員に対しては予定表に休暇を入れるようサービス管理責任者が促している。
- 部署等によって多少の休暇取得の状況は異なるが、日常業務での残業の抑制や休暇取得日数が少ない人への面談等を実施し、休暇や働き方に対する職員の満足度の向上に努めている。
- 休暇を取得しやすい体制を整備したことにより、子育て支援に積極的な企業として「くるみんマーク」を取得している。

## 企業概要

[ 設立 ] 1990年  
 [ 事業内容 ] 福祉・介護  
 [ 所在地 ] 茨城県水戸市  
 [ 従業員数 ] 連結 180名 (2017年3月現在)

[ 年次有給休暇の取得率 ] 52%  
 [ 年間休日数 ] 109日  
 [ URL ] <http://www.yuuseikai.jp/index.html>

## 取組内容と特徴

### 柔軟な休暇取得が可能であり、若手職員の満足度が向上

- ・リフレッシュ休暇は通年での取得が可能であり、取得単位も1日単位であることから、柔軟に休暇を取得することができる。事務系の職員であれば土日の休みと、生活支援員であれば、夜勤明けの休暇、公休と組み合わせることでリフレッシュ休暇を取得することで、3連休・4連休とまとまった休暇を取得することができる。
- ・趣味の充実や資格のための勉強に時間が割くことができ、全体の8割を占める10代から30代の若手職員の満足度が向上している。職員同士が声を掛け合って旅行に行くなど、職員同士の交流が盛んになっている。

### 休暇予定の見える化により休暇取得を推進

- ・介護の現場では、特に生活支援員の勤務体系が複雑となる。24時間、365日施設を稼働させるため、早出、日勤、遅出、夜勤と複雑になる。さらに夜勤は3名体制が義務付けられている。休暇の種類も、夜勤明けの休暇や公休があり、これに加えて有給休暇や希望休暇、リフレッシュ休暇等があり、勤務表の調整が難しく、以前は休暇が取得しづらかった。
- ・そこで、施設ごとに配置されている「サービス管理責任者」が中心となって勤務表の調整を行っているが、職員ごとに勤務表を書き込めるカレンダーを作成することで、職員の休暇予定が見える化され、休暇が少ない職員に対しては予定表に休暇を入れるよう促している。

- ・休暇予定の見える化と、連続した休暇の要望にも応えることができるように調整の時間を十分にとることで、リフレッシュ休暇の取得率は99%となっている。
- ・介護の現場は、夜勤は3名体制であるとか、入居者に対する生活支援員の人数が決められている。このため、どうしても人数が足りなくなるところがあれば、最終的には個別に相談して休暇取得のタイミングを調整している。
- ・新入職員でも、最初の3か月でマンツーマンの指導を行い、経験を積んで半年程度で一通りのことができるように指導を心掛けている。このため、職員間のフォロー体制も十分であり、休暇を取得しやすい体制が構築できている。

### 職員との面談で働き方・休み方の不満を解消

- ・年次有給休暇も含め、休暇取得率が低い人に対しては、施設ごとに年に2回、施設長が個別面談を実施している。
- ・各施設長が参加する幹部会議の中でも、施設ごとの休暇取得状況を確認し、意識の啓発を行っている。また、個別の休暇取得率を把握しており、理事長が声を掛けて有給休暇の取得を推進するという体制を構築している。これらの取組により、職員の働き方や休み方に関する不満の解消に努めている。
- ・平成27年に、仕事と育児の両立を推進している企業として「くるみんマーク」を取得しており、採用活動のPRとして活用している。

サービス管理責任者係長 石川 夏希さん

有給休暇やリフレッシュ休暇等、休暇制度がある為、気兼ねなく必要な休暇が取得できる雰囲気があります。

私は、リフレッシュ休暇を使って、同期の仲間と旅行に行く事が毎年恒例の楽しみになっています。

今年は温泉旅行に行き、笑いの絶えない4日間を過ごしました。休暇をいただく事で、仕事に対する気持ちの切り替えができ、私にとって良いリフレッシュの機会となっています。

リフレッシュ休暇は年間5日間いただけるので、1日単位で使ったり、公休と組み合わせると連休にしたりと計画的に利用しています。

制度利用者の声

